

<1年 音楽科 令和4年度 評価規準>

目標	題材名	1. どんな うたが あるかな	1. どんな うたが あるかな～「かたつむり(共通教材)」 「ひらいた ひらいた(共通教材)」
	月・時数	4月・4時間	5月・8時間
知識及び技能	(1)曲想と旋律や拍など音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付くとともに、範唱を聴いて歌う技能を身に付ける。	範唱を聴いて歌う技能を身に付けている。	「かたつむり」の曲想と旋律や拍など音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付いている。 【技―①】「ひらいたひらいた」の曲想と旋律や拍など音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付いている。
思考力・判断力・表現力	(2)拍やその流れ、速度、旋律のもつリズム、強弱、変化を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもったり、曲の楽しさを見いだして聴いたりする。	それぞれの音楽の、拍やその流れ、速度、旋律のもつリズム、強弱を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、曲の楽しさを見いだして聴いている。	それぞれの音楽の、拍やその流れ、速度、旋律のもつリズム、強弱を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、曲の楽しさを見いだして聴いている。 【思―②】それぞれの歌の拍や速度を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもっている。
主体的に学習に取り組む態度	(3)新しい友達と一緒に歌ったり、音楽に合わせて体を動かしたりすることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、様々な音楽に親しむ。	友達と一緒に歌ったり、音楽に合わせて体などを動かしたりすることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に降り組んでいる。	友達と一緒にわらべうたを歌ったり、うたに合わせて体を動かしたりすることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。

<1年 音楽科 令和3年度 評価規準>

題材名		2. リズムと なかよし	題材名	
目標	月・時数	6月・7時間	目標	7月・3時間
知識及び技能	(1)曲想と、リズムやその反復など音楽の構造との関わりや、身の回りのいろいろな音の特徴に気付くとともに、互いの声や音、伴奏を聴き、拍に合わせてリズム表現する技能や、発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に音を選んだりつなげたりして表現する技能を身に付ける。	【技—①】曲想と、リズムやその反復など音楽の構造との関わりや、身の回りのいろいろな音の特徴について気付いている。 【技—②】互いの声や音、伴奏を聴き、拍に合わせて歌ったリズム打ちしたりする技能や、発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて即興的に音を選んだりつなげたりして表現する技能を身に付けている。	(1)言葉とリズムとの関わりや、楽器の音の特徴について、それらが生み出す面白さなどに関わらせて気付くとともに、発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて。即興的に音を選択したり組み合わせたりする。	【知—①】言葉とリズムとの関わりや、楽器の音の特徴について、それらが生み出す面白さなどに関わらせて気付いている。 【技—①】発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に音を選択したり組み合わせたりして表現する技能を身に付けている。
思考力・判断力・表現力	(2)リズムを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、リズムづくりを通して音楽づくりの発想を得る。	リズムを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、リズムづくりを通して音楽づくりの発想を得ている。	(2)リズムや楽器の音を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、音遊びを通して音楽づくりの発想を得る。	【思—①】リズムや楽器の音を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、音遊びを通して音楽づくりの発想を得ている。
主体的に学びに取り組む態度	(3)4分音符や4分休符、8分音符から成るリズムやその表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、リズム表現に親しむ。	4分音符や4分休符、8分音符から成るリズムやその表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。	(3)言葉とリズムとの関わりのおもしろさに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、リズムや打楽器に親しむ。	【主—①】言葉とリズムとの関わりのおもしろさに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。

<1年 音楽科 令和3年度 評価規準>

題材名		4. 「うみ(共通教材)」	題材名		5. こんにちは けんぱんハーモニカ
目標			目標		
月・時数		7月・2時間	月・時数		9月・8時間
知識及び技能	(1) 曲想と旋律や拍など音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付くとともに、自分の歌声及び発音に気を付けて歌う技能を身に付ける。	【知—①】「うみ」の曲想と旋律や拍など音楽の構造との関わり、曲想と旋律や拍など音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付いている。 【技—①】「うみ」を自分の歌声及び発音に気を付けて歌う技能を身に付けている。	(1) 鍵盤ハーモニカの音色と演奏の仕方との関わりに気付くとともに、鍵盤ハーモニカの扱い方や鍵盤の位置、息のつかい方など基本的な演奏技能や、リズム譜などを見て演奏する技能を身に付ける。	【知—①】鍵盤ハーモニカの音色と演奏の仕方との関わりに気付いている。 【技—①】「ど」の鍵盤の位置、息のつかい方など基本的な演奏技能を身に付けている。 【技—②】鍵盤ハーモニカの扱い方や「どれみふあそ」の鍵盤の位置、息のつかい方など基礎的な演奏技能や、リズム譜などを見て演奏する技能を身に付けている。	
思考力・判断力・表現力	(2) 拍やその流れ、旋律を聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもつ。	【思—①】「うみ」の拍やその流れ、旋律を聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもっている。	(2) 旋律、伴奏の速度やリズムを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲に合った表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いをもつ。	【思—①】旋律、伴奏の速度やリズムを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲に合った表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いをもっている。	
主体的に学びに取り組む態度	(3) 情景や気持ちを歌で表すことに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む、日本のうたに親しむ。	【主—①】「うみ」の歌詞の、情景や気持ちを歌で表すことに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。	(3) 鍵盤ハーモニカによる表現に関心をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む、鍵盤楽器に親しむ。	【主—①】鍵盤ハーモニカによる表現に関心をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。	

<1年 音楽科 令和3年度 評価規準>

	題材名	6. どれみと なかよし	題材名	7. もりあがりを かんじて 「ひのまる(共通教材)」
	目標	目標	目標	目標
	月・時数	10月・8時間	月・時数	10月・4時間
知識及び技能	(1)曲想と音階など音楽の構造との関わりに気付くとともに、階名で模唱したりする技能や、音高を体などで表現する技能を身に付ける。	【知—①】曲想と音階など音楽の構造との関わりに気付いている。 【技—①】階名で模唱したり暗唱したりする技能や、音高を体などで表現する技能を身に付けている。	(1)曲想と旋律など音楽の構造と関わり、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付くとともに、階名で模唱したり暗唱したりする技能や、互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付ける。	【知—①】曲想と旋律など音楽の構造と関わり、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付く。 【技—①】階名で模唱したり暗唱したりする技能や、互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付ける。
思考力・判断力・表現力	(2)旋律やその変化、音階を聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもつ。	【思—①】旋律やその変化、音階を聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもっている。	(2)旋律の流れや音階を聴き取り、その働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもつ。	【思—①】旋律の流れや音階を聴き取り、その働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもつ。
主体的に学びに取り組む態度	(3)階名と音高との関わりに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、階名に親しむ。	【主—①】階名と音高との関わりに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。	(3)歌詞の表す情景を想像することや、旋律の特徴を捉えることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、日本のうたに親しむ。	【主—①】歌詞の表す情景を想像することや、旋律の特徴を捉えることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む。

<1年 音楽科 令和3年度 評価規準>

題材名		8. いい おと みつけて	題材名		9. ねこの なきごえで あそぼう
目標			目標		
月・時数		11月・7時間	月・時数		12月・3時間
知識及び技能	(1)いろいろな音の響きや、音のつなげ方の特徴について、それらが生み出す面白さなどに関わらせて気付くとともに、発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて即興的に音を選んだりつなげたりする技能や、音楽の仕組みを用いて簡単な音楽をつくる技能を身に付ける。	【知—①】いろいろな音の響きや、音のつなげ方の特徴について、それらが生み出す面白さなどに関わらせて気付いている。 【技—①】発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて即興的に音を選んだりつなげたりする技能や、音楽の仕組みを用いて簡単な音楽をつくる技能を身に付けている。	(1)音高や強弱、声の出し方の変化による表現の特徴について、それらが生み出す面白さなどに関わらせて気付くとともに、設定した条件に基づいて即興的に声を選んだりつなげたりして表現する技能や、音楽の仕組みを用いて簡単な音楽をつくる技能を身に付ける。	【知—①】音高や強弱、声の出し方の変化による表現の特徴について、それらが生み出す面白さなどに関わらせて気付いている。 【技—①】設定した条件に基づいて即興的に声を選んだりつなげたりして表現する技能や、音楽の仕組みを用いて簡単な音楽をつくる技能を身に付けている。	
思考力・判断力・表現力	(2)楽器の音や呼びかけ合いを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、音遊びを通して音楽づくりの発想を得たり、どのように音を音楽にしていくかについて思いをもったり、曲の楽しさを見いだして聴いたりする。	【思—①】楽器の音や呼びかけ合いを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、音遊びを通して音楽づくりの発想を得たり、どのように音を音楽にしていくかについて思いをもったり、曲の楽しさを見いだして聴いたりしている。	(2)音高や強弱など多様な声の出し方を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、声による音遊びを通して音楽づくりの発想を得たり、どのように音を音楽にしていくかについて思いをもったりする。	【思—①】音高や強弱など多様な声の出し方を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、声による音遊びを通して音楽づくりの発想を得たり、どのように音を音楽にしていくかについて思いをもったりしている。	
主体的に学びに取り組む態度	(3)自分や友達の出す音に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、様々な楽器の音に親しむ。	【主—①】自分や友達の出す音に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。	(3)声による多様な表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、即興的な表現に親しむ。	【主—①】声による多様な表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。	

<1年 音楽科 令和3年度 評価規準>

題材名		10. きよくの ながれ	題材名		11. うたで まねっこ
目標			目標		
月・時数		1月・5時間	月・時数		2月・4時間
知識及び技能	(1)曲想と、旋律の反復と変化、鳴き声の合いの手など音楽の構造との関わりに気付く。	【知—①】曲想と、旋律の反復と変化、鳴き声の合いの手など音楽の構造との関わりに気付く。	(1)曲想と、呼びかけとこたえなど音楽の構造との関わりに気付くとともに、互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌ったり、拍に合わせてリズム表現したりする技能を身に付ける。	【知—①】曲想と、呼びかけとこたえなど音楽の構造との関わりに気付いている。 【技—①】互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌ったり、拍に合わせてリズム表現したりする技能を身に付けている。	
思考力・判断力・表現力	(2)楽器の音色や旋律の反復・変化等を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲のよさなどを見だし、曲全体を味わって聴く。	【思—①】楽器の音色や旋律の反復・変化等を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲のよさなどを見だし、曲全体を味わって聴いている。	(2)歌声を聴き取り、その働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもつ。	【思—①】歌声を聴き取り、その働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもっている。	
主体的に学びに取り組む態度	(3)楽器の音色、旋律の反復と変化、拍やその流れなどから、音楽が表している情景を想像することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、標題音楽やオーケストラの響きに親しむ。	【主—①】楽器の音色、旋律の反復と変化、拍やその流れなどから、音楽が表している情景を想像することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。	(3)交互唱の面白さや友達との表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、交互唱に親しむ。	【主—①】交互唱の面白さや友達との表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。	

<1年 音楽科 令和3年度 評価規準>

	題材名	12. みんなで あわせて	題材名	
	目標	目標	目標	
	月・時数	2月・2時間 3月・3時間	月・時数	月・ 時間
知識及び技能	(1)曲想と、リズムなど音楽の構造との関わりに気付くとともに、互いの歌声や伴奏を聴いて声を合わせて歌う技能や、拍に合わせリズムを重ねて遊ぶ技能を身に付ける。	【知―①】曲想と、リズムなど音楽の構造との関わりに気付いている。 【技―①】互いの歌声や伴奏を聴いて声を合わせて歌う技能や、拍に合わせリズムを重ねて遊ぶ技能を身に付けている。		
思考力・判断力・表現力	(2)拍や旋律、楽器の音色を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲のよさなどを見だし、曲全体を味わって聴く。	【思―①】拍や旋律、楽器の音色を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲のよさなどを見だし、曲全体を味わって聴いている。		
主体的に学びに取り組む態度	(3)拍や旋律、楽器の音色などから、音楽が表している情景を想像することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、標題音楽やオーケストラの響きに親しむ。	【主―①】拍や旋律、楽器の音色などから、音楽が表している情景を想像することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。		